

学習指導要領		都立府中高校 学カスタンダード
(1) 私たちの時代と歴史	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。	
(2) 近代の日本と世界	<p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移 (ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や分化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<p>1. 19世紀世界の動向と開国と倒幕</p> <p>① ペリー来航の背景と、日米和親条約調印により幕府が鎖国政策から転換したことの意味を、近代日本の産業構造・東アジアの国際情勢を含めて理解する。 知</p> <p>② 通商条約調印の経過を理解するとともに、貿易の特色と国内の社会・経済与えた影響を、物価の推移に着目しながら理解する。 知</p> <p>③ 尊皇攘夷派と公武合体派との対立の原因や主導勢力について、幕府・雄藩の動向をつかみながら理解する。 知</p> <p>④ 大政奉還が出されたあとの対抗する勢力の動きを、公家勢力を中心に理解する。 知</p> <p>2. 明治新政府の諸改革と社会の変化</p> <p>① 五箇条の御誓文と五榜の掲示が出された目的について、江戸幕府の政策と比較して理解する。 知</p> <p>② 廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などの諸改革について、日本の近代化における、その後の影響を理解する。 知</p> <p>3. 明治初期の外交と反政府運動</p> <p>① 岩倉使節団を中心とする、明治初期の外交を理解する。 知</p> <p>② 士族の反乱を中心とする、反政府運動がなぜ起こったのか、理解する。 知</p> <p>4. 自由民権運動の展開</p> <p>① 民間の間に政治的関心が高揚し、自由民権運動が展開していったことを、運度経緯を把握しながら理解する。 知</p> <p>② 大日本帝国憲法の成立過程と、この憲法の特色について日本国憲法と比較しながら理解する。 知</p>

学習指導要領	都立府中高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>5. 立憲体制の成立</p> <p>①条約改正の具体的な交渉内容について、各外務大臣の動向に注目して理解する。知</p> <p>6. 日清戦争と国際関係</p> <p>①壬午軍乱や甲申事変を通して、日本と清国の対立経緯を理解する。知</p> <p>②下関条約の内容を理解する。知</p> <p>7. 日露戦争前後の世界と日本</p> <p>①三国干渉が日本国内の世論におよぼした影響を理解する。知</p> <p>②日露戦争をめぐる国際情勢について理解する。知</p> <p>③ポーツマス条約の具体的な内容を理解する。知</p> <p>④植民地支配の過程を、アメリカ・イギリス・ロシアなど列強との関係を踏まえながら理解する。知</p> <p>8. 政党政治の展開</p> <p>①第一次護憲運動と初の本格的な政党内閣である原敬内閣の内容を理解する。知</p> <p>社会運動の広がりとともに社会主義や共産主義の思想が広がったことを理解する。知</p> <p>②第二次護憲運動を経て護憲三派内閣が成立し、二大政党制が続いた経緯を理解する。知</p> <p>③普通選挙法の成立とともに治安維持法が成立した理由を理解する。知</p> <p>9. 産業革命の進展と資本主義の発展</p> <p>①産業の急速な発展によって、我が国の資本主義が確立する一方で、公害問題や労働問題が発生し、社会運動が起こったことを理解する。知</p>

学習指導要領	都立府中高校 学カスタンダード
<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>(3) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>10. 第一次世界大戦前後の国内外の動向</p> <p>①第一次世界大戦において、二十一か条の要求やそれに伴う中国の民衆の反発などを具体的に理解する。【知】</p> <p>②ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制が構築される中で日本の立場や対外政策の変化について理解する。【知】</p> <p>③大戦景気の背景と国内経済・社会に生じた様々な変化を理解する。【知】</p> <p>11. 戦間期の国内外の動向</p> <p>①紙幣の増発や金解禁、管理通貨制度や産業合理化による重化学工業の重視など、一連の政府の対応とその影響について理解する。【知】</p> <p>②保護貿易やニューディール政策など、世界恐慌に対する各国の対策について理解する。【知】</p> <p>③五・一五事件と二・二六事件が起こった原因と、その後の政治的影響について理解する。【知】</p> <p>12. 第二次世界大戦前後の国内外の動向</p> <p>①日中戦争の長期化に伴う物資の不足や、アメリカによる禁輸政策の影響を打開するため、日本が南方進出を行い、連合国と開戦することになった経緯について理解する。【知】</p> <p>13. 我が国の再出発</p> <p>①第二次世界大戦敗戦後の日本に対する占領政策は、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/S CAP）の発する指令／勧告に基づいて、日本政府が統治を行う、間接統治の形態で実施されたことを理解する。【知】</p> <p>②戦後の我が国で実施された五大改革について、財閥解体や農地改革など、具体的な改革の内容を理解する。【知】</p> <p>③日本国憲法の成立過程と三大原理等を含む具体的な特徴について理解する。【知】</p>

学習指導要領	都立府中高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p> <p>内容の(2)のウ及び(3)のウについては、資料を活用して歴史を考察したりその結果を表現したりその結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<p>④戦後の社会的混乱の中で、民主的な政党政治が復活したことや、労働運動をはじめとする社会運動が活発化したことについて理解する。知</p> <p>14. 冷戦の開始と講和</p> <p>①国際連合成立の意義を理解するとともに、アメリカを中心とする西側(資本主義)陣営と、ソ連を中心とする東側(社会主義)陣営の対立である冷戦がアジア各国に与えた影響について理解する。知</p> <p>②中華人民共和国の成立や朝鮮半島の大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国への分裂など、東アジア情勢が変化する中でアメリカの対日占領政策が大きく変化したことの意味について理解する。知</p> <p>③朝鮮戦争の開始が我が国に大きな影響を与えたことについて、朝鮮特需を基に理解する。知</p> <p>④サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の内容と特色、日本の独立の意義について理解する。知</p> <p>⑤琉球諸島、小笠原諸島、奄美諸島がアメリカの施政権下に置かれたことや、沖縄で祖国復帰運動が行われたことを理解する。知</p> <p>15. 政治や対外関係の推移</p> <p>①我が国で、保革対立の下での保守一党優位の政治体制(55年体制)が約40年続いたこととその社会的影響について理解する。知</p> <p>②我が国の独立後の外交政策や国内政治が、多極化する国際情勢の変化やアジアの緊張に大いに影響を受けていたことを理解する。知</p> <p>③冷戦の終結やグローバル化の進展など国際環境の変化を理解し、我が国が国際社会において期待されている役割等について理解する。知</p> <p>16. 日本経済の発展と国民生活の変化</p> <p>①我が国の戦後の経済復興について、財閥解体・農地改革などの戦後改革から石油危機を克服して経済大国に至るまでの歴史的過程を理解する。知</p> <p>②高度経済成長によって、我が国の産業構造をはじめとする社会の様相、国民の生活様式や意識の変化が起こったことを具体的な事例を基に理解する。知</p>